



山城 良一 議員

### 公民館建設の推進について

**質** 施政方針の中で、地域のくらしと共存する持続可能な村づくりの核となる地域コミュニティの形成はますます、重要な課題でありますとあるが、どう支援されるか。

**答** 総務課長 名城淳一  
補助金の割合国が2/1、県村、事業所が6/1の割合となっております。

**質** 時期は平成27年末までとなっている。負担金、わかるのであればお答え願いたい。

**答** 総務課長 名城淳一  
耐震改修計画を策定中であり、関係課と調整し、実施したい。

**質** 村内で二件該当すると思うが今後どういう指導、支援していくのか。

**答** 総務課長 名城淳一  
耐震改修計画を策定中であり、関係課と調整し、実施したい。

### 建築物の耐震改修の促進について

村長 志喜屋文康

**質** 地域における具体的な計画が動いているという字については、しっかり事業採択に向けた、事務調整入っていく。

**質** 災害はいつやってくるかわかりません。老朽化が進んだ公民館、早く改修されることを望みます。いくらぐらいの補助金等が捻出できるのか。

**答** 村長 志喜屋文康  
決定ではないが、民生安定の予算、村が捻出する予算で1億近い額になるのか、現在の考えであります。

### 無電柱化事業について

**質** 平成21年9月10日沖縄ブロック無電柱化推進協議会が開催されております。副村長が参加しておりますが、自治体での負担は認識されたのかどうか。

**答** 副村長 池宮城秀光  
自治体の費用負担が生じるということが前提で、合意がたつした。

村長 志喜屋文康

**質** 災害に強い事業であり、推進する立場にあります。負担金が出せなくて、事業を断念する自治体も出ております。今回国道沿いの事業であり、一般財源より充当したが、交付金で捻出できないのか。

**答** 村長 志喜屋文康  
村の一括交付金は恐らくすでに数年後の先まで使用は決まっておりますが、それ以外のものが充当できるか検討させていただきたい。



又吉 薫 議員

### 通信所跡地の利用推進

**質** 村全域や地域の振興開発のためどう支援出来るか、又役場から地域や地権者、事業者に対し協力や連携を求める面があるか。

**答** 企画課長 佐渡山安正  
村地域の振興につながるよう事業者を始め、関係団体と連携を図り、計画所在地の両地域に協理理解を得る事が重要。

### 女性職員の人材育成・登用を通じての組織力向上

**質** 女性職員の管理職への登用が進んでない原因、分析結果と対策。

**答** 総務課長 名城淳一  
理由は女性職員数が少い、子育て家事により現場業務や時間外会議に参加できない。女性職員の採用も多く、意識も変わり、係長への登用も増えてます。

**質** 女性の視点を事業に反映すること、住民サービスが向上する分野も多い。女性職員をどう活用するか。

**答** 総務課長 名城淳一  
以前は性別・役割分担意識がありました。今までの配置部署以外にも女性職員の職域を積極的に拡大したい。

恩納村女性職員の登用状況

	平成21年度			平成22年度			平成23年度		
	職員数	うち女性	比率	職員数	うち女性	比率	職員数	うち女性	比率
課長級	14	1	7.1%	14	1	7.1%	13	1	7.7%
その他の職員	88	44	50.0%	80	44	55.0%	81	44	54.3%
合計	135	48	35.6%	128	48	37.5%	129	47	36.4%

	平成24年度			平成25年度		
	職員数	うち女性	比率	職員数	うち女性	比率
課長級	14	1	7.1%	14	1	7.1%
その他の職員	82	42	51.2%	83	41	49.4%
合計	130	47	36.2%	131	48	36.6%

**質** 女性が活躍する職場は活性化され組織力は向上する。今後の女性職員の人材育成と管理職への登用についての考え方。

**答** 村長 志喜屋文康  
女性係長が増え意識が変わった、ステップアップを図り、近々管理職の数も二人、三人と増やしていきたい。

### 生きる力を育む学力向上対策の現状と課題

**質** 家庭環境が学力格差にも繋がる。村内の家庭学習の実態について。

学校教育課長 富山欽也

**質** 学校現場は統合は必要と考えている進捗状況。

**答** 教育長 石川哲夫  
候補地絞り込みが出来たら早めに統合の決定をしたい。

**質** 学力推進事業の成果、今後の対策。

**答** 学校教育課長 富山欽也  
学力は高まっている。学校間格差が有る。教員の資質向上を目指す。学力調査の上回る学校は家庭地域との連携が密、教育に理解が高い。今後地域や家庭教育に資する情報提供を行います。

**質** 学校教育課長 富山欽也  
家庭学習の時間は県、全国を上回ります。これが学力向上には繋がっていない。

**質** 教員のスキルアップを図る上で中頭地区との教科書の違いが問題視されますが問題点は何か。

**答** 学校教育課長 富山欽也  
恩納村は国頭地区の教科書を使用、赴任する教員は、殆どが中頭地区から移動し、教科書の構成、指導方法に時間をかけ理解する。